

同期会便り

在京同窓会メンバーが参加した催しを紹介する。

■中47・高1回

奇妙な奇妙な同期会便り

どうしようか？ ツビーオ
ア、ノットツビー このまま
消えて仕舞おうか？ もう少
し粘つて続けるか？

同期生の生き残りで達者
戰まで約5か月間のこと。当
時県下で隨一といわれた飯田
中学の4階建て鉄筋白亜の本
校舎、剣道場・柔道場を備え
た武道館、美麗な講堂、広大
な雨天体操場、さらに我々在
校中の2年生・3年生全員ま
で記録してくれ、ご苦労
だが頼むぞ！」と茶化した口
調ながら続行を本気で渴望す
る声もあつて、何とも踏ん切
りがつかない。

そんな時俄かに思いついた
のが『飯田中学・軍需工場学
徒少年工員時代』という、今
後もう一度と有り得ない奇妙
奇特性の『同期会』の存在だ。

今や本欄「同期会便り」から
「消え去らんとしている老兵
たち」の置き土産として、こ
の奇妙な同期会の登場を快く
受け入れて呉れ給え。

それは昭和20年の春から終
戦まで約5か月間のこと。当
時県下で隨一といわれた飯田
中学の4階建て鉄筋白亜の本
校舎、剣道場・柔道場を備え
た武道館、美麗な講堂、広大
な雨天体操場、さらに我々在
校中の2年生・3年生全員ま
で記録してくれ、ご苦労
だが頼むぞ！」と茶化した口
調ながら続行を本気で渴望す
る声もあつて、何とも踏ん切
りがつかない。

は一体何だったのか？ 歴史
に記録すべきではないか！の
思いが我ら当事者である中
47回生（高1回生）と中48回
生（高2回生）に燃え上り、
双方から編集経験者が5名ず
つ集つて作業を開始。

かくて『中学校が軍需工場
になった 長野県飯田中学校
生徒たちの昭和20年（1945
年）春夏』という長い題名
の600ページを越える大冊にな
り、出版基金対策は双方の幹
事連が連名で呼びかけて予約
や協力を集め、印刷製本は郷
土の南信州新聞社に依頼。
いよいよ晴れの2013年

5月。配本発送作業は東京日
比谷の市政会館地下1室を
ジャーナリスト長沼節夫君の
世話で借用し、後輩の手伝い
もあって無事終了した。やが
て飯田市歴史研究所から「地
域史研究に多大な貢献」とい
う評価で「歴研賞」を受ける
80）に問合せても可。

約束の字数を越えてしまつ
など評判上々だった。

た。まだ書きたいことが山々
だが自重します。

(牧内雪彦／記)

■高6回

三水会 カラオケ解禁 マジ

カ!

高6回の諸活動は復活しつ
ある。その核は三水会だ。
昨、令和3年10月には、6か
月の休止を破って月例懇親会
が開催され、11、12月と続き、
本年1～3月の中止はあった
ものの、4月以降は継続して
いる。参加者も十数名に定常
化し、そろそろカラオケも解
禁かと思われる。

5月例会では、嶽野功行君
が独唱を披露した。久保敷秀
男幹事の要請で、先ずは高野
辰之作詞『故郷』を、次はタ
イトル指定で、西條八十作詞・

古賀政男作曲の『誰か故郷を
想わざる』を朗唱した。いず
れも月例会や三水会「ふるさ

と巡り」のバスの中で合唱す
る定番曲だ。嶽野君の独唱を
皮切りに、合唱、カラオケの
解禁となるだろう。

「ふるさと巡り」も、10月
の実施を目指して具体化しつ
つある。実現すれば15回目と
なる。目的地は「八ツ場ダム」。

同期生の毛涯卓郎君が、昭和
51年から5年の間、所長の任
に在った。その仕事の現場を
見て、昼は水中バスで貯水池
が開催され、11、12月と続き、
本年1～3月の中止はあった
ものの、4月以降は継続して
いる。参加者も十数名に定常
化し、そろそろカラオケも解
禁かと思われる。



6月の三水会で。右手前から奥へ木下昌和、久保敷秀男、
奥村勝亮、市瀬陽勇、清水邦人、左手前から奥へ平澤正
通、熊谷直孝、田中正臣、林史欣、毛涯卓郎の諸君。久
保田睦海君見えなくて御免

を巡り、夜には苦心談をボツ
リボツリ聞かせて欲しい。

なにしろハッ場は地元の反

対運動を受けて容易には計画
が進捗しなかつた届指のダム
だという。昭和27年の計画

発表から68年を要して、令和
2年から運用を始めた。その

プロセスの何處に彼の仕事が
あつたのか、ダムにかけた彼

の夢と、その熱も聞きたい。

4月恒例の同期総会は今年

も延期された。前回は平成最

後の年、参加者42名の盛況

だった。諸兄姉の奮つてのご
来駕をねがう。

■高9回

元気な皆さんに会いたい
(藤本義久／記)

決まっている。2019年5
月29日に24名がアルカディア
に結集して以来、コロナが大
変元気なため、20・21・22年
5月までの3年間ずっと開け
ずにいる。この8月末までに

「コロナ退治完了宣言」が出
れば10月には開会し、コロナ
が元気で終息宣言が出なかつ

た場合は、残念ながら23年5
月となります。この場合23年

3月頃には往復はがきで皆さ
んに連絡いたしましょう。ご

了解願います。

厚労省の「(5歳ごとの)
平均余命表」(2019年7
月)によれば、80歳台の人の

平均余命は男性9年、女性12
年とされているから、わが高

9回生はどちらも90歳代まで
大丈夫らしい。というわけで

出来たらこの10月に、もしダ
メでも来年の5月には是非元

気な皆さんに会いたい。遠方
の同期生の方々も何とか都合

決まっている。2019年5
月29日に24名がアルカディア
に結集して以来、コロナが大
変元気なため、20・21・22年
5月までの3年間ずっと開け
ずにいる。この8月末までに
「コロナ退治完了宣言」が出
れば10月には開会し、コロナ
が元気で終息宣言が出なかつ
た場合は、残念ながら23年5
月となります。この場合23年
3月頃には往復はがきで皆さ
んに連絡いたしましょう。ご
了解願います。

平均余命表」(2019年7
月)によれば、80歳台の人の
平均余命は男性9年、女性12
年とされているから、わが高
9回生はどちらも90歳代まで
大丈夫らしい。というわけで
出来たらこの10月に、もしダ
メでも来年の5月には是非元
気な皆さんに会いたい。遠方
の同期生の方々も何とか都合

を付けて出席してもらえると嬉しいですね。

(三石善吉／記)

■高10回

毎月1回、オンライン十松会も、を楽しむ

在京の高10回＝十松会も、コロナの影響を受けてこの3

年間、リアル同期会を全く開

催していない。D組・E組・F組の皆さんのが幹事団を構成しているが、まだ今のところ開

催への動きはない。歳83歳ともなると一般的には「幕引き」のころだ。コロナ禍と合わせ考へると決断がつきかねるのだろう。仕方あるまい。

▼それでも、このままバラバ

ラでの世に去っていくのは寂しいし、もつたいないと何人かが昨年5月「オンライン十松会」を立ち上げ1年経つた。時間無制限無料というこ

た。10人近くは顔を見せ合つて話ができるようになった。

ところが、SKYPEの操作が難しく大勢参加できない。そこでこの5月から無料時間が40分と制限されるZOOM方式に転換し、2回継続して80分という形で取り組み始めたばかりである。

▼当時は、近況報告のみだったが、最近はテーマを決めてもらひまわりで話している。今

のテーマは「私のタカラツ時代」。あんなことがあった、こんなことがあったと結構面

白く質問も出て、話に花が咲き盛り上がる。強歩のこと、

タコ踊りのこと、演劇クラブ

のこと、木造図書館のこと、

アナグラ先生率いるラグビー

部のこと、とりわけ下平昇主将のわが同期が全国大会出場の囁矢であつたこと等々。

▼今後は飯田の仲間にも声をかけて話題も広げようと考え

ている。83歳となるとパソコンをいじる人が少ない。それでも、この企画のために中古パソコンを買い参加してくれたメンバーがいる。子供さんお孫さんに手伝つてもらつて、いるとのことで、それだけみんなが喜び合える場のようだ。

▼コロナ感染者数も一進一退だが、遠からずこのメンバーが集まり宴会を、そして小旅行をやりたいとも思つてゐる。参加したい人は、松下浩司、山口節夫、吉川駿まで連絡を。

（吉川駿／記）
《私の近況》
俳句

退職して始めたのが小旅行と街道歩き。それに月1回の鎌倉探訪。そんな中であらた信玄の越へし棒道ななかまど

虫集ぐ生家の土間の終ひ風呂

とどめ、記録に残せないかと始めたのが句作りです。気楽に始めたものの簡単には道は開けません。

現役時代の勉強不足も祟つて、いまだに苦戦の毎日です。ただ俳句のおかげで、このコロナ禍、無聊を託すことなく過ごせたことは幸いでした。以下は拙句ですが、所属の結社「春耕」の創刊55周年俳句選集に寄せた句です。

語り部と歩く小辺路の初音かな

切れ切れの夢に追はれて朝寝かな

湘南の海の碧さに似て四葩

軒すだれ一枚づつにある暮し

と街道歩き。それに月1回の

鎌倉探訪。そんな中であらた

信玄の越へし棒道ななかまど

虫集ぐ生家の土間の終ひ風呂

御明りのなくて仮間の寒さかな

下町の湯屋の煙突寒夕焼
(岡島清美／記)

(岡島清美／記)

■高12回

掲示板

「S A N G O - k a i O P E N 」

50万カウント達成!

2001年10月3日、表記

の掲示板が開設され、以後、

順調に推移し、そのアクセス数・50万カウントが現実のもとのとなりました。

この掲示板は、主として、三五会（高12回）会員の気軽な投稿により、会員相互の意思疎通や情報交換等の場を提供しようとして設けられましたが、表題に「O P E N」とある通り、会員に限らず、何方でも参加できるものです。

三五会の恒例行事は、新年会、お花見、暑気払い、忘年会に加え、会員が主催或いは

参加する、音楽会、絵画展、書道展、展示会の参観や懇談

会、ハイキング、登山、旅行等多岐に渡っていますが、これらのはわざかでした。

3年、コロナ禍の影響で開催されたのはわずかでした。

そんな状況下にあって、会員各位が唯一心に留めるのが、まさに、この掲示板なのです。

掲示板を開くと、冒頭に「S A N G O - k a i O P E N 」のカラフルな文字、バックに月面写真が表れます。まず注目するのは故郷飯田・下伊那等の風景や行事等の写真で、これは、月に2度ほど更新されます。いながらにして、故郷の四季折々の景色や行事などが偲ばれ、懐かしむことが出来るのです。

この掲示板は、主として、三五会（高12回）会員の気軽な投稿により、会員相互の意思疎通や情報交換等の場を提供しようとして設けられましたが、表題に「O P E N」とある通り、会員に限らず、何方でも参加できるものです。

懇親会等で合集い、話題に花を咲かせることは、80代に突入した会員にとって、貴重

な時間ですが、そんな機会

が奪われている状況下にあつ

て、この掲示板の存在とその果たす役割は、大変意義深いものがあります。

こうして正月を過ごした、どんど焼き、節分、もう桜が咲いた、孫が出来た、同志の

टー^ー報、映画や読後感想、世相への感想・評論、風景写真や動画、書籍の紹介、その他

アラユルジャンルの自由で闊達な書き込み等々が無作為に投稿されます。

恒例行事を通じての、お互

いの意思の疎通等を図る方策が制限される昨今ですが、この掲示板はそれを補填するに余りある役割を担っているといえるのではないかと想

■高13回

長沼節夫著作集が完成

コロナのため再三延期しては、7月30日を予定していましたが、急激なコロナの拡大により、やむなく中止となりました。誠に残念です。

ただ、この間、飯田高校窓生を含む多くの有志により、長沼節夫著作集『ジャーナリストを生きる』（南信州新聞社・刊）が完成しました。

高13回生長沼節夫君は、硬骨の社会派ライターとして、常に世界、とりわけ朝鮮・韓国と日本の間における問題に光を当ててきました。その心優

しき視線から生まれた膨大なるボ・論稿を、458頁の1冊に総集。多くの同年生や同窓生も、追悼文や本の制作に協力しています。在りし日の長沼節夫君と高校時代を思い浮かべながら、この本を紐解



小池惇平氏作
「釈迦如来坐像」

いていただきたいと思いま
す。
（菅沼知允／記）

■高14回

LINEで毎日楽しくやりとり
私たち高14回生は、今年78歳と79歳となり飯高を卒業して60年経ちました。「在京三七会」として毎年50人程参加する数々の楽しいイベントが、恐ろしいコロナ禍の蔓延で全く無くなり誰とも会えなくなりた去年1月小池惇平さんからLINEグループを立ち上げスタートし、現在16名のメンバーで毎日賑やかにやり取りしています。

以来毎朝5時ピッタリに「ピコピコ」と鳴つて「おはようスタンプ」が着信します。

丁度「高松祭」をやつしていく時、飯田高校を訪ねました。

飯高は、窓が小さく螢光灯も懐かしく嬉しかったです。

■高15回

（堀越　〈旧姓・仲村〉　美智恵記）

「同期会」＝タイムマシンに乗つて

早起きおじさん方が一日も休まず発信されるにも頭が下がります。続いてメンバー達が次々と投稿し、日常あつた事、今日の予定などがあつて、まるで会話をしている様にイキイキと伝わって来ます。そして様々な写真が添えられるとダイレクトに感動が伝わります。

中でも私が思わずキュンとしたのは、台所で腕を奮った料理男子さんの食卓シーンで、あまりの見事な出来栄えに脱帽です。多忙を極めた現役時代から解放されて、70代は自由に過ごせるので様々な意欲を満たしながら、人生を深く振り返れます。

去年信州巡りを楽しんだり取りしていきます。

14回生は昭和・平成・令和を生きて来年は80代を迎える。世界を見ますと、79歳のバイデン大統領、96歳のエリザベス女王が重責を担つておられ、いぶし銀・プラチナの輝きを放たれていて目が離せません。これからは残りの人一生をしつかり楽しめる様に過ごして「いつもの仲間」達とLINEのやり取りを続けて行きたいと願っています。

2ヶ月だけ隣に座る幸運を得た「珠玉の美少女」は「田舎」から特別出演。いつも天竜峡の踏切にいたYちゃんは「新宿」にはあまり来ない。天竜川の向こうの村の彼女とは橋が出来て近くなった。「天文クラブ」の「屋上の会」（夜）に弟と妹を連れて来ていたSは八王子から時々遅刻してくる。高速バスで乗り合せた彼女Hを迎えに来ていたお兄

さんを、「恋人」と間違えて文。大地震の直前から「新宿同期会＝いちご会」に出ていた。突然「45年後の世界」に出でて、女子学生徒は60人程でしたから黒い学生服の集団に埋もれていました。校以来の同級生MとエンバラキのKは、前に親友Yの家で出会いつてた。「化学」の時間隣に居たSは、私達を「水害の線路に見捨てた」Oに教わつた。

の世界…。S会長の命令で作文。同期会＝いちご会」に出ていた。突然「45年後の世界」に出でて、女子学生徒は60人程でしたから黒い学生服の集団に埋もれていました。校以来の同級生MとエンバラキのKは、前に親友Yの家で出会いつてた。「化学」の時間隣に居たSは、私達を「水害の線路に見捨てた」Oに教わつた。

の世界…。S会長の命令で作文。大地震の直前から「新宿同期会＝いちご会」に出ていた。突然「45年後の世界」に出でて、女子学生徒は60人程でしたから黒い学生服の集団に埋もれていました。校以来の同級生MとエンバラキのKは、前に親友Yの家で出会いつてた。「化学」の時間隣に居たSは、私達を「水害の線路に見捨てた」Oに教わつた。

失敗。「暗算」が異常に早いS、「歩こう会」でも出会う。

「古希の会」で出会った「毒薬の姉御」は東信にいる。彼女の父親と私の父は同級生である「シャンソン歌手」には、最後まで付き合つた。三鷹の

写真家には「西荻は田舎だよ快速止まらないよ!」と教え

て貰つた。「マージャン好き」の写真家の展覧会に行つた。「田舎に住んで車が無いと面白くないよ!」と言つていた。

「数学クラブ」の彼女は今でも仕事が有るらしい。彼女の夫は「信陽舎」の先輩だった。それよりも「バスポート」を受け取りに行って「暗算のS」に、「あんた何しに来たの?」とすごまれた時にびっくりした。(Y.Oを除き美少女達の思い出)(上松三治彦/記)

一昨年来の数度にわたるオミクロ株等の新型コロナの波の中で、仲間との会合開催や、展示会への出席を躊躇せざるを得ない状況が続いております。

iida 17 WEBでの情報交換も、個人的な音楽などの

趣味、コロナ・ワクチンに対する意見、複雑な国際情勢にかかわることなどが散見されますが、やはり低調な感じがします。こんな状況下における仲間の地道な活動の中から、美術絵画にかかる事例について活動を紹介します。

先ず、「木村 稔」君は、長年、肖像画、風景画などを

描き、毎年1月から2月にかけて、「本明会展」(東京交通会館2Fギャラリー)に出品

しています。しかし、事情

によりこの展示会は終了。こ

り沿いの室内は、光と風が感じられる心地良いスペースとつくりを継続していきたいとのことです。なお、今年は6月、第34回府中油絵同好会展に出展しました(府中市美術館市民ギャラリーにて)。次に「平澤 薫」君は、水彩画に造詣が深く長年携わっていますが、現在、「水彩会」同人の他、「日本透明水彩会」会員、「日本スケッチ学会」会員として活動。毎年2月から10月にかけてこれら展示会に出品しております。また、水彩画教室を週木金の2回開いており、後進の育成にも力を注いでいます。

また、美術作品を展示する施設を提供する立場から、ギヤラリーを運営する「高橋朝子」さん。2010年秋、文化と芸術の街として知られる国立市に「ギャラリー」編集委員でもある三ツ橋史緒子さんが中心になつて立ち上げてくれました。三ツ橋さんの先見の明には驚くと共に感謝です。グルーブメールは他

■高22回

グルーブメール情報と追い出しこンパ

私達22回卒業生は同期会を「二二会」と称し、自慢のグループメールを活用してこのコロナ禍でも活発な情報交換を楽しんでおります。

このグルーブメールは、今から20年ほど前に『稻穂』の編集委員でもある三ツ橋史緒子さんが中心になつて立ち上げてくれました。三ツ橋さんによりこの展示会は終了。これにともない、今後は地域のあります。駅から徒歩3分、通

員の何気ない日常の出来事を情報交換しております。野球、故郷、リニア新幹線、星空の話題等々、会からリアルタイムで送信されときます。

また、首都圏では、神奈川県在住の金田房雄さんから、9月に熊本へ移住する事になつたと連絡が入りました。関東在住の有志を募り、コロナ感染に注意しながら、7月22日神田神保町の中華料理店にて『金田君追い出しコンパ』を開催しました。写真。当日の参加者は11名、リモートでも数名参加してくれました。

会長選挙の時、何としても金田さんを当選させたいと躍しました。

ラスの女子が一致団結して選挙運動を展開したことや、50年経てば時効ということで淡い恋の話まで飛び出しまし

た。イケメンでもない金田君をどうしてあんなに夢中になつて応援したのか、今となつてはわからない、という藤崎英子さんの発言に一同大爆笑。

さらに、コロナ前は四ツ谷の齊藤博人さんの法律事務所で毎秋『芋煮会』と称して交流会を行つておりました。齊藤君は、毎年秋に芋煮会を行つておりました。芋煮会にはとても載せられなつてはわからない、という藤崎英子さんの発言に一同大爆笑。

藤さんによれば午後3時ころから飲みだし、気がつけば終電に乗り遅れる人がいたようです。飲みすぎによるオジサマ達がやらかした数々の失敗談にまたまた大笑い。内容はこの紙面にはとても載せられません。同期会だけの秘密といたしましょう。

そして、最後は人生百年時代、これから30年をどう生きるかという話題になりました。思い出話は尽きることなく、2時間の『壇中の天』はあつという間に過ぎてしましました。

卒業50周年記念会はコロナの影響で再三延期となつておりますが、来春地元飯田で開催予定です。金田さんの新天地での幸せと、50周年記念会で皆元気で再会できることを祈りつつお開きとしました。



お互いを思いやり、高めあう同期会は何にもかえがたい宝です。（久保田淳子／記）

■高23回

ニイサンカイ誕生秘話

「おーいっ、ハルイチ！」

神宮球場のブルペンで投球練習をしていた熊谷春一君にスタンダードから声をかけたのは

鈴木貴君。時は1974年、東京六大学野球秋季リーグ戦

の真っ最中だった。

2人は飯田高校H組の同級生だが、再会したのは卒業以来3年半ぶりのことだった。

高校時代、野球班のキャプテンだつた熊谷君が部室で放課後の練習の準備をしているとき、1日10時間勉強すると噂

されていた秀才、鈴木君は校庭をスタッフと横切つて自宅に急ぐという日々だった。一浪して立教大学経済学部に入学すると同時に野球部の合宿所生活を始めた熊谷君と現役

で東京大学に入学し、理学部

で数学を専攻していた鈴木君がそれまで疎遠だったのも無理はない。

それが卒業を半年後に控えた鈴木君が突然、熊谷君の前に現れたのだつた。「お前がまぶしいよ」。鈴木君はこう

語り、やけに落ち込んだ様子。熊谷君は、国家公務員試験のようない人生の進路を決める試験に失敗したと、直後に人づてに聞いた。後年、鈴木君に確かめると、それはきつぱりと否定し、「誰でもブルーな気分になるときつてあるじゃない」と笑つた。

神宮球場での再会以来、2人の交友は復活。たまに酒を酌み交わす仲になつた。大学

卒業後、熊谷君は町田市の病院に勤務するようになり、鈴木君は東大助手をスタートに就任したため、熊谷君が同

期の仲間でお祝いしようと発案。同じH組だった原泰君と声掛けして1991年6月に実現した。これが在京同期会「ニイサンカイ」の嚆矢で、参加者は女性1人、男性8人の計9人だつた。

翌年に鈴木君は愛媛大学に転じたため、第3回以降は出席していない。ちなみに現在は、国立大学教授の定年年齢をはるかに超えたにもかかわらず、大阪大学数理・データ科学教育センター副センター長・特任教授として、ビッグデータ解析など時代の最先端を行く国家プロジェクトの研究開発を率いている。

熊谷君と原君のコンビはその後も永年幹事として、毎年6月第1土曜日に、我々同期会リ写真リを飯田で開催した2019年6月を最後に、コロナ禍のためニイサンカイは開かれていないのが残念だ。

ホームページを新築して移転したに

もかかわらず変わらぬ姿勢で幹事を務め、ニイサンカイのホームページ作りを独りで引き受けてくれている。

そのホームページの記録を見ると、かく言う私は第5回

(1995年)に初参加。その日の参加者は14人とある。そ

の後、徐々に参加者が増え、最多は第22回(2012年)の28人。

本部同窓会総会の学年幹事を務めた日にオールジャパンの同

年会リ写真リを飯田で開催した2019年6月を最後に、コロナ禍のためニイサンカイは開かれていないのが残念だ。

(原 誠 記)



飯田高等学校 23回生 卒業49周年同窓会 令和元年6月8日 於：マリエール飯田